

豊中—サンマテオ
都市提携ニュース



第 9 号
昭和52年 3月31日発行
豊中・サンマテオ
姉妹都市協会

事務局 豊中市市長公室
秘書課848-1121



下村市長夫妻 サンマテオ親善訪問！

姉妹都市訪問記

——下村市長夫妻——

昨年は、アメリカ建国200年祭の年であり、姉妹都市提携13周年、日本庭園10周年ということで、姉妹都市から再三にわたって訪問の要請があり、とくに日系の方々からも是非実現をと、強い要望がありました。昨年は、とくに財政危機の中であったため、議会とも相談しました結果、個人として、また姉妹都市協会のメンバーとして、夫妻で訪問することにしました。



日本庭園10周年記念式典のJ・マーレ市長とのケーキカット

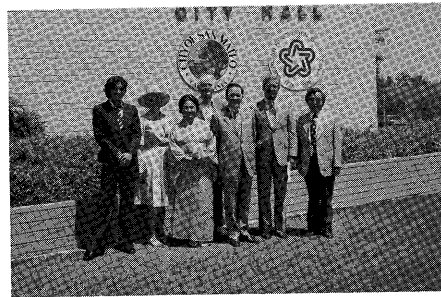
渡米する前から現地の新聞は、6月12日に豊中・サンマテオ姉妹都市協会の下村市長夫妻が訪れることを、大々的に報道し、さらに日系の方々からも、是非来ていただかなければという事で、とくにジム中田氏を通じて、2度3度の国際電話をいただきました。

式典には、多くの日系の方々に参加され、お茶、お花、祭り太鼓の披露等、一日中「豊中の日」ということで、日本的な催しでいっぱいでした。大変忙しいサンマテオ市長も、公務をさいてこの日本庭園の式典に、夫人同伴で出席され、素晴らしい歓迎を受けました。

私は訪問のたびに感激することがあります。それはサンマテオの方々、わが豊中に対してたいへん好意的であり、そして何よりも嬉しいことは、日系の方々、今も日本人であるという自覚と、よろこびをもち、これを二世三世の方にも引継いでおられるということでもあります。

とくに日本にいられた日系の方は、祖国日本を誇りに思っておられます。これも訪問中のことですが、60歳位の日系の方が、私の妻の手を握って喜びを満面に表わし「よくお越しくさいました」と感激にむせび泣く場面があり、横にいた私も、感激でまぶたの熱くなる思いをしたことがありました。

私たちの歓迎会は、地元のロータリークラブ、ライオンズクラブ、市、姉妹都市協会、日系市民協会の5者の団体が中心になって盛大に催してくれました。



サンマテオ市役所にて

日本庭園は10年の歳月を経て緑いっばいの立派なものになっておりました。当時五重の塔を贈りましたが、その塔も大きな樹木におおわれて美観を呈し、日本情緒をただよわせております。このすばらしい日本庭園には、日本人はもちろん、現地のアメリカの方々がたくさん見物に訪れている姿も見てまいりました。

私は帰国してからも文教都市豊中が、サンマテオ市と姉妹都市提携を結んだことの意義と重要性を再認識し、これからの若い世代が豊かな知識と国際性を身につけて、今後益々両市の親善を推進してくれることを祈らずにはおれません。サンマテオ市は大へん気候のいいところ。私たちも滞在中雨にあうこともなく、澄みきった青い空とすがすがしいそよ風の中で快適な日々を送りました。滞在中いろいろお世話を願った関係各位に深く感激を申しあげますとともに、国際親善のきずなをより固くして、両市が益々発展することを祈っています。

第5回 高校英語弁論大会終る

去る1月22日、豊中市民会館において、新春恒例の第5回高校英語弁論大会が成功裡のうちに終わりました。

今回は、事務局が従来の企画課から秘書課に移ったことと、この大会が、北摂唯一の公的英語弁論大会として、その実績が、高く評価されつつあることが認識され、事務局として大いに励みとなりました。前任者の数々のいいものを踏み台に、さらにこの大会が権威あるものとするために、豊中市、豊中市教育委員会、さらにアメリカ政府の広報文化局の機関である大阪アメリカンセンターの後援を受けました。大阪アメリカンセンターの館長から、この大会の後援は今後においてもおしませんとの嬉しい約束もいただきました。

今回は特に出場者に対し、その努力を高く評価したいと考え参加賞に配慮をくわえました。又PRについても大切と考え、各高校の先生、各ライオンズクラブ、各ロータリークラブ、YMCA等へ依頼し、さらにポスターの掲示を阪急電車のプラットフォーム、市内の自治会の掲示板、各施設に行ない、さらに豊中市広報、4大新聞等にも掲載してPRにつとめました。

大会は緊張のうちに華やかな雰囲気、応援の友人、先生、家族の方々がたくさん出席され盛大のうちに終了することができました。



熱心に聞かせる聴衆者

応募者は定員の15名をはるかにこえる盛況で

したが、従来同様すべて女生徒であったことと、豊中市民、当協会のメンバーの子弟の出場が少なかったことを事務局として残念に思います。

次回から1でも多い出場参加を望むものです。最終出場者の出場校は次のとおりです。

	出場校	人数
1	梅花学園高校	4名
2	東豊中高校	1名
3	豊中高校	1名
4	池田高校	2名
5	宝塚高校	4名
6	被昇天学園高校	2名
7	小林聖心女子高校	5名

審査員には、第4回大会と同様、ナンシー坂本女史、宮城弘善先生、キース田村先生、川合隆子先生、池上武先生にお願いしました。



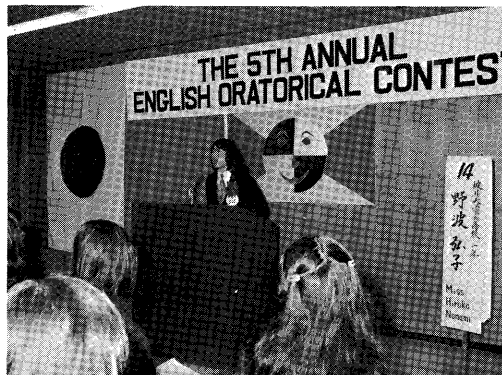
名審査員

出場者は1人持ち時間5分とし、自由な演題で熱弁をふるっていただきました。

大会は、午後2時から始まり、出場者多数のため途中で休憩をとり、全員終了したのは4時過ぎでした。採点については、イントネーション・プロナウンシエーションに50点、コンテンツ・コンポジションに30点、ベアリング・デリバリーに20点の配点で行ない、直ちに別室にて5名の審査員によって公正、厳正に審査を行ないました。出場者の発表内容、英語の発音等たい

へん優秀であったため、順位決定について各審査員は大変苦勞をしましたが結果は次のとおりです。

順位	氏名	学校名
優勝	熊田 玲子	東豊中高校 2年
2位	中村 弘子	小林聖心女子学院高校 2年
3位	矢野 恵三子	〃
4位	竹永 みゆき	宝塚高校 1年
5位	野池 弘子	被昇天学園高校 1年



弁論風景



前列(入賞者)左より、4位竹永みゆき(宝塚高)、2位中村弘子(小林聖心女子高)、優勝熊田玲子(東豊中高)、3位矢野恵三子(小林聖心女子高)、5位野池弘子(被昇天高)
後列左より、小林市長公室長、キース田村先生、ナンシー坂本先生、市村会長、島岡助役、川合隆子先生、宮城善弘先生、池上武先生、竹下市長公室次長

最後になりましたが、大会の成功に御協力下さいました会員の皆さんはじめ、各高校の先生、報道関係の方々、出場者のご父兄の方々に対し厚くお礼申し上げます。

(事務局記)

「弁論大会の審査員として」

大阪北YMCA講師

川合 隆子

毎年スピーチコンテストが開催される頃になりますと、今年はどうのようなスピーチが聞けるのかと、胸がわくわくします。

今回は特に自由課題の為、その楽しみが大きい気がしました。私は幸い第1回から審査員として参加させて頂いておりますが、1年毎に内容が充実し、英語のレベルも上がっていくのには目を見張るものがあります。

高校生にとって外国語で文章を書き、それを発表するという事は大変な努力と勇気を要するものですが、おのおの自分のものとしてよく消化が出来ていました。全体としては、他のスピーチコンテストとくらべても、かなりレベルの高いものでしたが、審査員全員の意見として少し批評させて頂き、それが来年度への上達のヒントとなれば幸いです。

まずスピーチが普通の会話と根本的に異なる点は、スピードと声を大きく前面に押し出す事にあります。従って、審査の方もゆっくり、はっきり聞きとりやすいスピーチの方に自然と高い点がつく事になります。毎年この点を指摘して来ましたので、文章と文章との間はかなりゆっくりとるようになっていますが、まだ文章の中ほどで急いでしまう傾向があるようです。これを防ぐためには、ナンシー阪本先生が良いアドバイスをして下さいました。単語のシラブル(音節)をていねいに発音し、言葉のビーツ(拍手)をこわさないようにすれば、自然とスピードもゆっくり明瞭なスピーチになるよう

す。もう一つの問題点のRとLの発音は、単語の頭につく音についてはとてもよくなりました。ただ単語の中に、はさまっているRとLについては少し問題が残るようです。

私はスピーチコンテストの真の価値はコンテストそのものより、準備の段階にあると思います。自分の考えを文章にまとめ、それを外国語で表現するため何度も英語を練りなおし暗誦する。その課程の中で自分でも思いがけない程の実力がつきます。最後の発表の段階でたと思いきや通りにはいかなくても気を落さず、これからも英語に親しんでいってほしいと思います。私の知人でこのコンテストで優勝された後、大学へ進まれてからも府の弁論大会などに積極的に参加し、活躍されている方がいます。このコンテストがきっかけで英語への自信を得られたのだと思非常に喜んでいきます。

今年の特徴として、殆んど参加者に差がなかったため、審査の方は非常にむづかしいものでした。今年は公立高校の生徒が優勝されましたが、どちらかといえば受験勉強に重点を置く公立高校と、身近に相談出来る外人教師の多い私立高校とのギャップをいかに調整するかがこれからの審査員に与えられた課題だと思います。事務局の方で各分野から審査員を選んで頂いているため、私たち審査員はまるで七夕のように来年まで会う機会もないでしょうが、次のスピーチコンテストに期待しています。欲をいえばここ2・3年男性徒の参加がないので来年度は是非発奮して花?を添えて頂きたいものです。

「私の夢」

東豊中高校2年

熊田 玲子

1月22日に行なわれた第5回豊中・サンマテオ姉妹都市協会英語弁論大会で優勝することができ、まだ半分信じられないのですがうれしきで一杯です。

大会が終わってからも、ますますもっと自由に英語を話せるようになりたい、と思うようになりました。世界の多くの人たちと友達になること、これが私の夢です。世界中の生活習慣や思想の異なる人たちと知り合うことができたらどんなに楽しいことでしょう。たとえことばが通じなくても、ある程度は心が通い合うと思いますが、ことばが通じ会うと、より一層信頼が深まっていくと思うのです。

日本には、日本にしかないすばらしいものはいくつかあります。東大寺や法隆寺等の古代建築物、華道・茶道・書道等の芸術、そして日本を代表する着物の美しさ。また、四季の変化が美しい国土の自然。こういうものを英語で世界のもっと多くの人に知ってもらいたい、それと同時に、日本にはない世界各国の文化や芸術を知ることができたらどんなにすばらしいだろう、と思うのです。

また、経済の面でも、日本は現在ではアメリカ・西ドイツと並んで世界の経済の安定に努力していかねばならないと言われてます。世界中の国と仲よく貿易するためには、お互いの理解がまず必要であると思います。私もこれから英語を一生懸命に学んで日本の立場を外国に知らせるような仕事をしてゆけたらと思っています。

私は、もっと勉強して英語を自由に使いこなせるようになり、いつかはきっとサンマテオをも訪れてみたいと思っています。

姉妹都市だより

日本庭園へ

「水飲み用噴水」贈る

アメリカ建国200年、姉妹都市提携13年、日本庭園10周年、を記念して下村市長御夫妻の姉妹都市訪問を機に姉妹都市のセントラルパーク内の日本庭園へ「水飲み用噴水」を贈りました。



来豊中のジム中田氏へ下村市長、市村会長から「水飲み用噴水」代金の小切手を託す

サンマテオ市長から、次のようなメッセージが届きました。

サンマテオ市民を代表して、姉妹都市である豊中の皆さんに心からのお礼を申し上げます。この公園を訪れる多くの子供達や大人は、我々の国際的友情の永遠のしるしとしての、この噴水を見て、そして利用して喜ぶことでしょう。

アンダーソン氏から

「油絵」贈られる

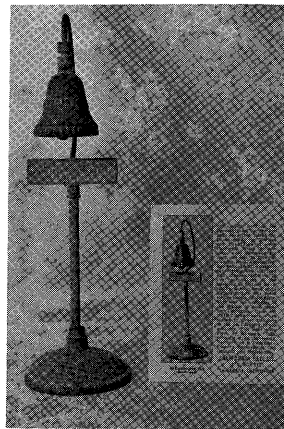
10月15日エルマー・Sアンダーソン牧師(サ・市姉妹都市協会豊中委員)から、豊中市へ油絵の寄贈を受けました。この絵は氏が長年愛蔵していたもので、「カリフォルニアのミッション」と題されたものであり、カリフォルニアは、独立以前から布教の中心地であったことから当時のミッションベルと神父を抽いています。豊中市の第22回市展に特別出展をして現在市役所の応接室に飾りつけをしています。

今年も

「エルカミノベル」届く

今年も姉妹都市からエルカミノベルのレプリカが送られて来ました。

これは去る1月22日新春恒例の第5回高校英語弁論大会の優勝者にサンマテオ市長賞として贈られました。これは先に述べたように東豊中高校の熊田玲子さんが獲得しました。



エルカミノベルのレプリカ

エルカミノベルとは…

「エル・カミノ・リアル」は、初期のカリフォルニアのプエブロからプロシデオへ点在する21の教会を結ぶ歴史的な道のスペイン名です。教会が破壊された時点で道がわからなくなりました。1904年に古い道を復活され、歴史上の道しるべとしての教会の復旧に興味をおこさせるため「エル・カミノ・リアル協会」が結成されました。1,800万ドルの道路公債が州の人々からよせられました。これが現在のカリフォルニアの良い道路網の始まりです。400以上のベルの道しるべが、旅行者を教会へ案内する目的で設置されました。そのベルは婦人団体、愛国団体「ネイティブ、サンズアンド、ドーターズ」州議員や市会議員、それに個人から寄贈されたものです。

「サンマテオへ日本語図書を

贈ろう」運動について



皆さんから提供いただいた図書

昨年11から、この運動を行ってまいりました。この運動は、昨年6月に下村市長御夫妻が姉妹都市へ親善訪問した際に、現地の日系人地域社会の代表から、サンマテオでは公共の図書館に日本語の図書がきわめて少ないため誠に残念でならない。日系人口3000人といわれている姉妹都市で日系市民協会を中心に、サンマテオ市に対して日本語図書館を建設しようという運動をはじめたので、姉妹都市である豊中の皆様へ支援してほしいとの強い要請を受けました。

これを受けまして昨年7月の総会で会員の皆様方にお計りして、この運動を進めてまいりました。お陰をもちまして皆様方からご提供いただきました図書も1,700冊程となり、小説随筆類専門図書、学習書、図鑑、辞書、全集ものさらには児童用の童話、絵本といったようになりまとまった形ちで提供いただいたことに嬉しく思います。提供者の中には、甲府、東京、熱海、和歌山の方々といったようになり遠くから賜ったものもごございます。特に豊中ワイズメンズの皆さんには、全国にこの運動の呼びかけをしていただき多くの図書の提供を賜ったことに感謝申し上げます。

サンマテオ日系市民協会から

図書贈られる

10月15日、日系市民協会の柑本夫妻、ドッカー夫妻が下村市長、市村会長を表敬訪問され、次のような図書の寄贈を受けました。

(目録)

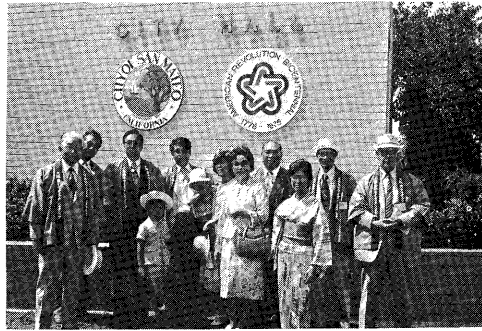
番号	題名	内容
1	South. from Sanfrancisco (サンフランシスコの南)	サンマテオ郡 その歴史と財産
2	Nisei (二世)	静かなるアメリカ人 達
3	Years of infamy (公権喪失の歲月)	日系人の捕虜収容所 の秘話
4	Back Roads of California (カリフォルニアの裏道)	カリフォルニアの主要ハイウ エイをはなれた旅行記
5	Miracle at Philadelphia (フィラデルフィアの奇跡)	1787年5月から9月 までの立憲大会の話
6	Buddhist churches of America I・II (アメリカの仏教会①・②)	75年の歴史
7	The winter of our Discontet (ジョン、スタイン、ベックの小説)	
8	My. Friend Flieka (マイフレンドフリッカ)	
9	Thunderhead (サンダーヘッド)	マリーオハラの小説
10	Iva Toguri (イヴァトグリー)	第2次世界大戦の犠 牲になった女性の話
その他		
	Book lets San mateo California The golden years	児童用の小冊子

市立岡町図書館にサンマテオコーナーを設けておりますのでご利用下さい。

姉妹都市

サンマテオを訪問して

—豊中ワイズメンズクラブ—
会長 小島 規似郎



サンマテオ市役所にて

8月1日より4日間ワイズメンズクラブ国際協会52回国際大会がアナハイム（カルフォルニア）のデズニーランドホテルで開催されるに当り、当クラブではチャーター15周年をひかえ豊中の名を全世界のワイズにPRするために、豊中市の章入りハッピーコートを新調して、豊中市民としてこの機会に姉妹都市サンマテオを訪問して国際親善の実をあげようと計画いたしました。当初の人員より減ったものの杉本一郎副会長夫妻、熊沢新三君夫妻、加藤隆正君夫妻及び二人の令息、尾和秀雄君、寛太郎君、原八衛君及び会長の12名が、下村市長からいただいたミューレー市長と姉妹都市協会会長宛のメッセージを携えて7月28日PAAにて日本を出発しました。

ロスアンゼルスに一泊の後、7月29日午後サンフランシスコ空港着、姉妹都市協会アンダーソン氏、ジム中田氏、大岩氏及び下村忠功君の出迎えをうけてサンマテオ市に到着、ペニンシュラYMCAに小憩の後、サンマテオ市庁を訪問致しました。ミューレー市長は休暇中にもかかわらず市庁にて迎えていただき、下村市長よりのメッセージをお渡しし、同市長よりは建国200年記念メダル、姉妹都市協会バッジ等をそれぞれにいただきました。その後、ジム、チャルマー市長代理より市庁内を案内していただき、各セクションのチーフより市の行政状況について

説明を受けました。

サンマテオ市は人口10万余り、サンフランシスコ空港の近くで、シスコのベッドタウンとして発達し、今では商業都市としての性格が強く、中堅都市として成長している様です。大きな駐車場のある有名なヒルスディルショッピングセンターもサンマテオ市にあります。又、教育と文化の都市とも言われている由です。公共福祉にも力を入れておられる様で、現在も大きな下水処理場が計画されて居るとの説明も受けました。驚いたことには、市議会は5名の市会議員でその互選によって市長及び市長代理が選出されているということです。更に日本の市役所と違って平屋建のそう大きくない市庁舎で、市職員も非常に少なく、訪れる市民もみかけません。これは、電話で又コンピューターによって処理されているからとのことでした。市庁舎見学後、表の広場に新しく購入された消防自動車が入り、この、ご自慢の消防自動車をバックに記念撮影をしました。市庁舎を出てから豊中市寄贈の石燈籠のある日本庭園を見物、そして市街散策、夕方6時よりパトラックパーティーによる私共の歓迎会を、各自手づくりの真心こもった料理や、ショーをみせていただき、非常に楽しいひとときをすごさせていただきました。その後、日本のお土産として金剛力士「阿吽」の額面一對、及びそれぞれが持参した市図書館への日本語書籍約20冊を寄贈し、サンマテオ市当局よりはレットウッド苗木2鉢をいただきました。夜の更けるのを忘れ、10年の知己の様に片言の英語を交えての話合いにまだまだ名残りはつきぬ様でしたが、下村君、大岩さん等にシスコのホテルまで送っていただきました。

私共は、他のメンバーと共にヨセミテ国立公園見物の後、ディズニーランドの国際大会に出席した次第ですが、真夏というのに汗もかかない良い気候、しかも空気が良く、風光明媚、日本と比べたらまだまだ安い土地や生活費、将来是非サンマテオに移住したいと言うメンバーも出てくる程、本当に楽しいそして忘れ得ぬ思い出となる今回の姉妹都市サンマテオ訪問でした。

短 信

6月11日

下村市長夫妻、アメリカ建国200年、姉妹都市提携13周年、日本庭園10周年を機にサ・市訪問。

6月30日

国際親善都市連盟の第17回総会が東京で開催。

7月9日

豊中ロータリークラブの交換学生村司弘美、吉村満智子、辻井郁代さんが、7月15日からサ・市へ訪問するための挨拶に市役所を訪れ、下村市長から激励を受けた。

7月20日

豊中ロータリークラブの交換生スティーブ・トランメル、ダン・トランメル、ダン・ナックルズ君が下村市長を表敬訪問。



豊中ロータリークラブの交換生来豊

7月23日

昭和51年度の総会を豊中市民会館で開催。



総 会

7月29日

豊中ワイズメンズクラブが下村市長のメッセー

ジを携えてサ・市を訪問、第52回ワイズ国際大会に出席の途中姉妹都市を訪れ、関係者と親善友好をした。

8月10日

アメリカ4Hクラブの女子学生ミッシェル・モーザさんが、4Hクラブと国際交流機関「ラボ」との親善交換生として来豊、小林市長公室長と面談。

8月14日

田中健三氏（大阪芸術大学教授）が下村市長のメッセージを携えてサ・市を訪問。

9月20日～22日

国際親善都市連盟の都市提携事業研究会が熱海で開催。

10月15日

日系市民協会の柑本夫妻、ドッカー夫妻が下村市長、市村会長を表敬訪問。サ・市の日系市民協会から図書の寄贈とアンダーソン牧師からの油絵が贈られる。



柑本、ドッカー夫妻来豊

11月8日

ジョン湯本氏が来阪。(サ・市姉妹都市協会会長)

1月14日

ジム中田氏が来豊。下村市長、市村会長と交歓

1月22日

第5回高校英語弁論大会開催。

2月19日

大阪新聞社編集局文化部次長藤井勇氏が同社創刊55周年を記念して、アメリカの特集をするために渡米。サ・市の取材に訪問。

姉妹都市協会役員名簿

(昭和52年 3月 1日現在)

役職名	名 称	氏 名
名誉会長	豊 中 市 長	下 村 輝 雄
顧問	豊 中 市 議 会 議 長	野 津 恒 雄
会 長	豊 中 商 工 会 議 所 顧 問	市 村 善 次
副 会 長	豊 中 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 長	今 井 康 兼
〃	豊 中 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 長	平 山 稔
〃	豊 中 北 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 会 長	奥 田 幸 作
〃	豊 中 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 会 長	吉 田 豊
〃	豊 中 南 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 会 長	松 本 親 男
〃	豊 中 北 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 会 長	樋 口 嘉 章
〃	豊 中 中 央 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 会 長	堀 安 利
会 計 理 事	住 友 銀 行 豊 中 支 店 長	宮 田 清 士
〃	豊 中 市 助 役	島 岡 三 郎
監 事	豊 中 市 社 会 教 育 委 員 会 議 長	藤 間 常 太 郎
〃	サ ン マ テ オ 訪 問 者	伊 丹 啓 次
常 任 理 事	豊 中 市 議 会 副 議 長	中 川 嘉 之
〃	豊 中 市 教 育 長	北 原 富 雄
〃	豊 中 市 婦 人 団 体 連 絡 協 議 会 々 長	小 野 綾 子
〃	日 本 ボ ー イ ス カ ウ ト 豊 中 地 区 協 議 会 々 長	池 上 真
〃	大 阪 北 Y M C A 主 事	宇 野 義 男
〃	豊 中 市 体 育 連 盟 理 事 長	瀬 川 正 一
〃	豊 中 市 P T A 連 合 協 議 会 々 長	青 木 讓 一
〃	豊 中 市 交 通 安 全 自 動 車 協 会 々 長	奥 田 正 治
〃	豊 中 市 青 年 協 議 会 々 長	丸 川 宗 広
〃	豊 中 防 犯 協 議 会 々 長	中 川 種 治 郎
〃	豊 中 商 工 会 議 所 会 頭	広 石 幸 八 郎
〃	豊 中 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 幹 事	渡 辺 宏 道
〃	豊 中 南 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 幹 事	田 原 翠 成
〃	豊 中 北 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 幹 事	笹 部 政 雄
〃	豊 中 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 幹 事	天 野 康 治
〃	豊 中 南 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 幹 事	西 村 正 義
〃	豊 中 北 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 幹 事	島 本 精 二
〃	豊 中 中 央 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 幹 事	上 坂 千 代 市
〃	豊 中 商 工 会 議 所 専 務	藤 井 広 之
〃	豊 中 市 立 小 学 校 々 長 会 々 長	垣 内 利 夫
〃	豊 中 市 立 中 学 校 々 長 会 々 長	古 沢 慶 一
〃	豊 中 市 立 蛭 池 公 民 館 長	松 波 邦 三 郎
〃	豊 中 市 立 岡 町 図 書 館 長	高 津 寅 一
〃	サ ン マ テ オ 訪 問 者	福 盛 佐 一 郎

役 職 名	名 称	氏 名
常任理事	サ ン マ テ オ 訪 問 者	四 角 健 一
〃	〃	井 伊 弘
〃	〃	高 坂 高 士
〃	〃	北 村 半 次 郎
〃	〃	岡 野 武 夫
〃	〃	丹 生 隆 雄
〃	〃	竹 尾 宗 和

新会員紹介

会 員 別	新 会 員 名
学校・団体	豊 中 北 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 会 長 樋 口 嘉 章
個 人	下 村 節 子 (市 長 夫 人)
	小 島 規 似 郎 (豊 中 ワ イ ズ メ ン ズ ク ラ ブ)
	寛 太 三 郎 (〃)
	杉 本 一 郎 (〃)
	尾 和 秀 雄 (〃)
	加 藤 隆 政 (〃)
	川 島 政 春 (豊 中 市 役 所)
	岡 本 純 男 (〃)
	瀬 戸 口 勇 一 (〃)
	東 江 薫 (〃)

編集後記

事務局が、昨年5月にいままでの企画課から秘書課に移りまして、アッという間に1年がすぎました。会員の皆様に必要なことができなかったことをたいへん心苦しく思います。

この提携ニュースの発刊にあたり紙面をお借りしてお詫びを申し上げます。

1年をふりかえてみて、反省すべきこととして今後において工夫すべきことなど、いろいろありました。今後はこれらを基にして、さらに精進して、皆様方の事務局として頑張りたいと考えておりますので、よろしくご指導、ご鞭達をお願い申し上げます。